



学校だより

小和田小学校

令和7年度6月号

学校教育目標 「心も体も丈夫な子」「思いやりのある子」「自ら学ぶ子」

学校経営方針 一人ひとりを大切に、社会力のある人を育み、みんなの笑顔がある学校

校長 高澤 誠

連休が明けてから爽やかな晴れの日と肌寒い雨の日が交互にやって来ました。

朝、正門（西門）または東門で児童の登校を見守っていると、「おはようございます」という元気なあいさつをしてくれます。とてもうれしい気持ちになります。一人ひとりのあいさつの表情があります。私は、あいさつを先にしたいと心掛けていますが先を越されてしまうこともあります。でも、あいさつのキャッチボールは朝の素敵な時間です。



さて、5月18日（日）に赤羽根中学校の体育祭を参観させていただきました。3月に本校を卒業した子どもたちも中学生になり、元気に競技に参加していました。「さすが中学生」という迫力のある競技の様子でしたが、学年が上がるとさらに力強さやチームワークが感じられました。先輩の姿を見てさらに成長していくことを強く感じました。

こころの劇場

5月1日（木）に茅ヶ崎市民文化会館大ホールで「こころの劇場」が開催されました。「こころの劇場」には、茅ヶ崎市内の全19校の6年生が招待され、茅ヶ崎市教育委員会の協力の下、劇団四季による「ふたりのロッテ」を鑑賞しました。本校は2階席から鑑賞しましたが注意を守りマナーよく鑑賞できました。また、劇団員による本物の演技に子どもたちは、真剣に見ていました。勇気、知恵、人とのつながりなど大切なものを演劇から学ぶ貴重な機会となりました。

1年生を迎える会

5月8日（木）の1校時にグラウンドで「1年生を迎える会」を行いました。となりのトトロの主題歌「さんぽ」の曲に合わせ、6年生と手をつないで1年生が入場しました。会の準備や進行は、運営委員会の児童が行いました。少し緊張していた1年生もゲームをしたりする中で笑顔が見られてきました。運営委員長長の歓迎の言葉、1年生の仲間入りの言葉はとても立派でした。また、2年生からメダルをプレゼントされ、1年生はうれしそうな表情でした。今後、縦割り活動などさまざまな場面で一緒に活動していきます。

運動会に向けての練習

「フレーフレー紅組、ガンバレガンバレ白組」子どもたちの元気な声が校内に響きます。5月31日（土）に予定されている運動会の練習が始まり、各学年とも学年種目の練習を熱心に行っていました。さらに5・6年生は、係の活動にも取り組んでいました。今年度は、紅白に分かれて実施しますが、勝ち負けを越えて運動会を通して「自分はこんなことを頑張った、こんなことができた」と思い出に残る運動会にしてほしいと願っています。